

【政務活動報告書（県内）】

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
	住所	活動先の名称	対応者		
4月25日	境港市小篠津町 2258	航空自衛隊 美保基地	基地司令他 隊員	昨今の美保基地を巡る情勢について聞き取りし、基地内を見学	179
9月5日	琴浦町 鳥取市青谷町 鳥取市国府町	米久おいしい鶏（株） いかり原牛舎 （株）みんなの牧場	渡辺公則 長谷川宏 岡本郁久	県内の大規模な養鶏、和牛肥育、酪農の畜産業者の視察	179

政務活動報告書

活動事項	公共施設適正化計画、ルビーシティ松江の取組、島根原子力発電所の現状に関する視察
活動年月日	平成30年4月16日(月)～平成30年4月17日(火)
場所	松江市役所、松江オープンソースラボ、中国電力島根原子力発電所
活動の相手方	松江市財務部次長 林忠典 資産部係長 森脇勇人 まつえ産業支援センター 事務局長 大谷利行 支援係長 福間裕二、島根原子力発電所 職員
目的・内容・結果等	<p>【目的】 松江市における公共施設適正化の取組、IT産業振興のために開設した「松江オープンソースラボ」の取組、中国電力島根原子力発電所の現状について内容聴取、意見交換を行い、その結果を県政への提言等につなげる。</p> <p>【内容】 公共施設適正化の取組について林財政部次長から取組状況、まつえ産業支援センター大谷事務局長からは「松江オープンソースラボ」の取組、事業内容を、島根原子力発電所は職員から原子力発電所の安全対策の取組、工事の現状を聴取した。 そして、それぞれの施設では積極的な意見交換を行った。</p> <p>【結果(成果)等】 松江市は平成17年市町村合併を行ったが、それぞれの自治体で多くの公共施設を整備してきた。人口減少、少子高齢化が進む中、公共施設を取り巻く環境が変化し、適正な施設の在り方を検討する時期がきた。平成28年に「松江市公共施設適正化計画」を策定し実行している。 本県の各自治体においても地域事情が異なるものの公共施設について同じ状況であり、早急に施設の在り方を検討をしなければいけない。 プログラミング言語「ルビー」を地域資源とした「ルビーシティマツエ」の取り組みの一環としてIT産業振興のため、技術・情報の交流及び人材育成の拠点として、松江オープンソースラボを開設し、産業</p>

	<p>の活性化と地域ブランドの創造に取り組んでいることである。本県の IT 産業振興の取り組みの参考にもなるのではないか。</p> <p>島根原子力発電所 1 号機は廃止措置中、2 号機は新規制基準適合性審査中、3 号機は未稼働であるが新規制基準をふまえた安全対策工事中である。</p> <p>再稼働に向け、安全対策への取組、それに伴う工事を間近でみる事ができ、そして一つ一つの課題に対して慎重に取り組んでいることがわかった。</p> <p>再稼働については色々な考え方があるが、慎重に判断をしなければならぬと感じた。</p>
関連領収書番号	179

政務活動報告書

活動事項	2018年度日本自治創造学会研究大会、参加
活動年月日	平成30年5月10日(木)～平成30年5月11日(金)
場所	東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
活動の相手方	日本自治創造学会
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 表題、「人生100年時代の地域デザイン」副題として「人口減少社会に向き合う地域社会」としての研究大会が2日間の期間で開催され参加した。</p> <p>【内容】 講演 高橋進氏 人生100年時代の人づくり革命 講演 菅 義偉氏 人生100年時代の政府の取組 講演 佐々木信夫氏 これからの日本をどうする 講演 雄谷良成氏 ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来 講演 伊藤明子氏 空き家対策と活用策 講演 北川正恭氏 人口減と対峙する地方議会 講演 新藤義孝氏 日本の目指す道 以上の講師先生方から人口減少社会について色々な視点での話を伺った。</p> <p>【結果(成果)等】 日本は、今後世界に類を見ない急激な人口減少、少子高齢化の社会を迎える中で、本県においても例外なく人口減少が進展していく中で、地域社会、まちづくりをどのように進めていくか、また行政がどこまで関わっていくかは大きな課題である。 人口減少の解決に向けての特効薬はないが、講師先生方の話を今後の議会活動に生かしていきたい。</p>
関連領収書番号	9、19、20、21、23、26、27、28、

第10回 2018年度 日本自治創造学会 研究大会

人生100年時代の地域デザイン ～人口減少社会に向き合う地域社会～

日時

平成30年5月10日(木) 13:00～17:40
11日(金) 9:30～14:55

場所 東京 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL 03-3296-4545[代]

参加費 会員 13,000円(年会費2,000円、2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生会員参加費 2,000円(年会費、2日間大会参加費・資料代含む)

非会員 15,000円(2日間大会参加費・資料代含む)
※大学院生非会員参加費 3,000円(2日間大会参加費・資料代含む)

改革発表会兼交流会 参加費:1,500円

主催 財団法人 日本自治創造学会

第10回日本自治創造学会

研究大会 プログラム

■ 第1日目 5月10日(木)

12:00	開場・受付
13:00～13:10	大会挨拶 穂坂 邦夫 ((財)日本自治創造学会理事長)
13:10～14:00	講演 人生100年時代の人作り革命 高橋 進 (㈱日本総合研究所理事長)
14:00～14:15	質疑
14:15～16:45	パネルディスカッション 若者たちの挑戦—人口減少社会の地域デザイン パネリスト 伊藤 文弥 (NPO法人つくばアグリチャレンジ副代表理事) 横山 太郎 (Co-Minkan普及実行委員会共同代表・医師) 李 炯植 (NPO法人Learning for All代表理事) 井上 貴至 (総務省〈現在、愛媛県市町振興課長〉) パネリスト兼コーディネーター 山崎 亮 (㈱studio-L代表取締役)
16:45～17:00	休憩
17:00～17:40	講演 人生100年時代の政府の取組み 菅 義偉 (内閣官房長官・衆議院議員)
17:50～20:00	改革発表会兼交流会 ～改革大発信・ベスト1の選出・親睦・交流～

■ 第2日目 5月11日(金)

9:30～10:20	講演 これからの日本をどうする 佐々木 信夫 (中央大学名誉教授・(社)日本国づくり研究所理事長)
10:20～11:00	講演 ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来 雄谷 良成 (社会福祉法人佛子園理事長)
11:00～11:10	休憩
11:10～11:50	講演 空き家対策と活用策 伊藤 明子 (国土交通省住宅局長)
11:50～12:00	質疑
12:00～13:00	昼食 [12:40～(財)日本自治創造学会総会]
13:00～13:50	講演 人口減と対峙する地方議会 北川 正恭 (早稲田大学マニフェスト研究所顧問・元三重県知事)
13:50～14:00	質疑
14:00～14:50	講演 日本の目指す道 新藤 義孝 (元総務大臣・衆議院議員)
14:50～14:55	閉会挨拶 中邨 章 ((財)日本自治創造学会会長・明治大学名誉教授)

政務活動報告書

活動事項	平成30年度関西岩美倶楽部総会出席
活動年月日	平成30年5月19日(土)
場所	大阪市 鳥取県関西本部交流室
活動の相手方	岩美町 関西岩美倶楽部会員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 関西岩美倶楽部は関西地域に在住する岩美町出身者及びゆかりのある方々の相互の親睦を図るとともに、岩美町の発展に寄与することを目的として平成24年に発足して6年が経過した。 この度鳥取県関西本部交流室を会場に総会が開催され岩美町出身の県議として参加した。</p> <p>【内容】 当日は5名の新会員を含め37名の会員が参加し、岩美町からは西垣町長、正副議長、担当課職員、関西本部職員など参加し盛大な総会になった。 岩美町からは現在の町の取り組みや現状などの報告があり、出席会員一人ずつから近況報告があり交流を深めた。 「岩美町の情報をもっと発信して住みやすさをPRしては」「きれいな海を活用した取り組みを」など岩美町の更なる発展を願い、関西地域から見た岩美町に対していろいろな提言をいただき有意義な意見交換ができた。</p> <p>【結果（成果）等】 今回で6年目12回となるが関西地域在住の町関係者が一堂に会して意見交換、交流を深めることは意義のあることであり、関西地域から岩美町を応援していただけることは本当にありがたいことである。 近年、岩美町は積極的に移住の取り組みをしているが、無料の高速道路も整備され関西地域からの移動時間・距離も短縮され、今後より一層経済、観光面をはじめ多くの分野で関西地域との連携を深めていく必要がある。</p>
関連領収書番号	29, 32

【様式例】

政 務 活 動 報 告 書

活 動 事 項	山陰海岸ジオパーク推進 3 府県議会議員の会 平成 30 年度総会及び現地調査
活 動 年 月 日	平成 30 年 7 月 19 日 (木)
場 所	新温泉町山陰海岸ジオパーク館
活動の相手方	鳥取県、兵庫県、京都府議員 10 名 各府県の行政担当職員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度「山陰海岸ジオパーク推進 3 府県議会議員の会」の総会開催 ・鳥取環境大学准教授 柚洞一央氏による講演 ・現地調査 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度山陰海岸ジオパーク推進 3 府県議会議員の会の総会 平成 29 年度事業報告 平成 30 年度事業計画 要望活動について ・鳥取環境大学准教授 柚洞一央氏による講演 ・現地調査 遊覧船による海上から地形の様子を視察 <p>【結果（成果）等】</p> <p>山陰海岸ジオパークは、平成 22 年に世界ジオパークネットワークに加盟しているが、4 年ごとの再認定の審査を受けることになっている。</p> <p>山陰海岸ジオパーク推進 3 府県議会議員の会としても国、3 府県知事、推進協議会会長などへの要望活動や、再認定に向けての支援など山陰海岸ジオパーク活動への推進に向けて関係機関と連携し取り組みことに認識をひとつにした。</p>
	179

政務活動報告書

活動事項	生活環境整備の視点による鳥獣害対策について 県内進出企業の取り組み状況について
活動年月日	平成30年9月6日(木)～平成30年9月7日(金)
場所	岐阜県郡上市和良町 宮地集落 岐阜県各務原市金属団地128
活動の相手方	岐阜県郡上市和良町 宮地集落 酒井義広 今井航空機器工業(株)
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 先進的に鳥獣対策を行っている郡上市和良町 宮地集落のリーダーから取り組み状況について内容聴取と意見交換 航空機関連部品を製造する今井航空機器工業(株)の本社に伺い、内容聴取と意見交換を行い、結果を県政への提言につなげるため。</p> <p>【内容】 鳥獣対策については、宮地集落酒井氏から概要を聴取し、その後現地で侵入防止柵等を視察した。 今井航空機器工業(株)では今井社長自ら対応していただき、総務部の若松氏からパワーポイントを使って業務内容について説明を受けた。また鳥取工場の役割についても説明を受け積極的な意見交換を行った。その後工場内の視察を行った。</p> <p>【結果(成果)等】 本県においても、鳥獣対策には大変困っているが、郡上市和良町宮地集落では農家以外の住民も全て参加し集落挙げて鳥獣対策に取り組んでいる。①皆で②囲って③除いて④追っ払って⑤取っての鳥獣被害防止5策を実践している。本県と地域事情が異なるものの多くの面で参考になった。 今井航空機器工業(株)では、今後航空機産業はさらに発展する産業であるが、優秀な人材の確保が難しいとのことである。県としても人材育成に積極的に取り組むことが急務であり、今後の議会質問等に反映させていきたい。</p>
関連領収書番号	79、179

政務活動報告書

活動事項	海岸線の埋没・浸食対策視察
活動年月日	平成30年11月14日(水)
場所	静岡県袋井土木事務所
活動の相手方	所長 松浦賢実 工事課課長 平井武志 企画班主査 戸井口芳輝
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 静岡県袋井土木事務所における海岸埋没・浸食対策に係る先進的取組について内容聴取、意見交換を行い、その結果を県政への提言等につなげる。</p> <p>【内容】 静岡県は福田漁港の港口埋没対策と浅羽海岸の浸食対策としてサンドバイパス事業を実施している。堆積した砂を栈橋に据え付けたジェットポンプによって吸い込み、パイプラインを通して浸食している海岸へ運ぶ恒久的なサンドバイパス事業であり、平成26年3月に運転開始した。事業内容について袋井土木事務所の職員から事業等の実施状況及びその成果について概要を聴取した。 その後、現場の栈橋を視察した。</p> <p>【結果(成果)等】 本県も多くの海岸線で浸食されており、県、地元住民にとっては懸案事項である。現在サンドバイパス事業を毎年行い、また昨年は試験的に鳥取方式のサンドポンプ使ったサンドバイパス事業を行ったが、なかなか恒久対策が実施できないのが現状である。 海岸浸食については、今後も色々な視察等を行い議会質問等に反映させたい。</p>
関連領収書番	106, 114、